

大阪経済の情勢

(2022年11月指標を中心に)

2023年 1月
大阪府商工労働部
(大阪産業経済リサーチ&デザインセンター)

「大阪経済は、緩やかに持ち直している」

需要面では、個人消費は、緩やかに持ち直している。百貨店・スーパー販売額、コンビニ販売額、家電販売額、新車販売台数は増加。家計消費支出(近畿;10月)は増加。投資は、持ち直しに足踏みが見られる。住宅投資は減少、非居住用建設投資は増加。公共投資は増加。輸出は、持ち直している。輸出額は増加。主要国向けでは、すべての地域向けで増加。輸入額は増加。

供給面では、生産動向は、弱含んでいる。大阪府(10月)では、生産、出荷はともに低下。近畿の生産(10月)は低下。全国の生産(11月)は低下。企業倒産では、件数、負債金額はともに悪化。雇用は、持ち直しの動きが続いている。近畿の失業率は横ばい。有効求人倍率は横ばい、新規求人倍率は上昇。所定外労働時間(10月)は上昇。

先行きでは、新型コロナウイルス感染症の影響や、物価上昇等による経済への影響について、今後の動向に引き続き注意が必要。

		需要							
		消費				投資		貿易・観光	
		大型小売店販売(大阪)	コンビニ販売(近畿)	家電販売(大阪)	新車販売(大阪)	新設住宅着工(大阪)	建築物着工(大阪)	輸出(近畿)	関空外国人旅客
11月		▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
10月		▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲

		供給				
		生産		倒産	雇用	
		生産指数(大阪)	生産指数(全国)	倒産件数*(大阪)	有効求人倍率(大阪)	失業率*(近畿)
11月		▲	▲	▲	▲	▲
10月		▲	▲	▲	▲	▲

*前年同月と比較し、上向き矢印は「景況改善」、下向き矢印は「景況悪化」。ただし、一致CI、生産指数、有効求人倍率は季節調整済みのため、前月との比較。失業率と倒産件数は、減少・低下が景況改善となり、上向き矢印となる。

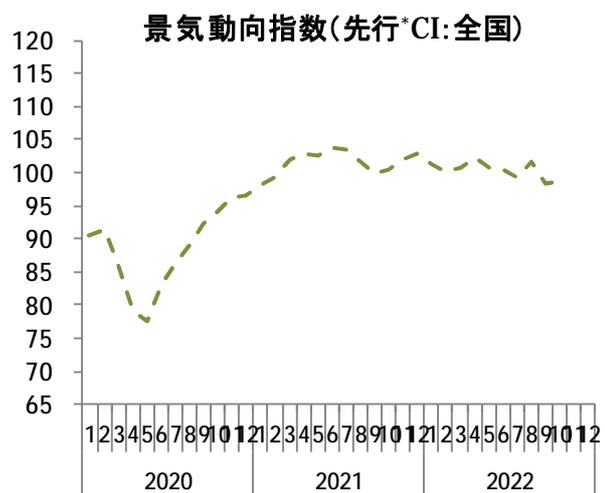
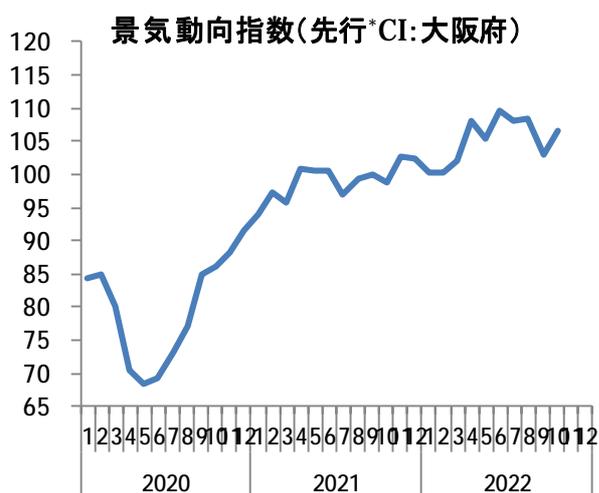
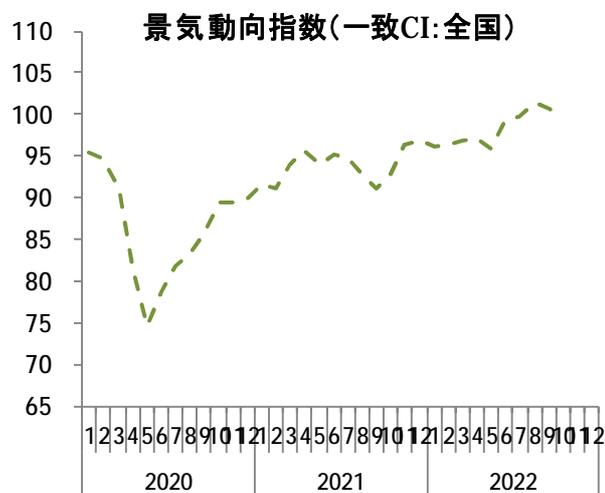
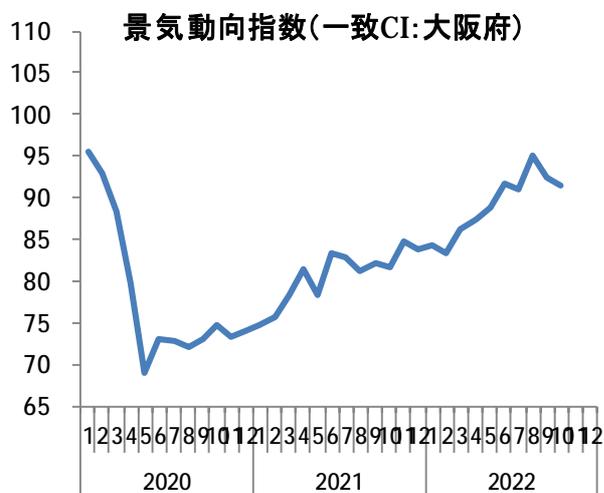
(参考)各機関の総括判断

	先々月(2022年11月公表分) (2022年9月指標中心)	先月(2022年12月公表分) (2022年10月指標中心)
大阪産業経済リサーチセンター 「大阪経済の情勢」	大阪経済は、緩やかに持ち直している。	大阪経済は、緩やかに持ち直している。
内閣府 「月例経済報告」	景気は、緩やかに持ち直している。	景気は、緩やかに持ち直している。
近畿経済産業局 「近畿経済の動向」	近畿地域の経済は、緩やかに持ち直している。	近畿地域の経済は、緩やかに持ち直している。
日本銀行大阪支店 「関西金融経済概況」	関西の景気は、感染症の影響が和らぐもとで、持ち直している。	—

※以下、Pは速報値を表す

[総合]

○景気動向指数(CI)【大阪府(10月)では、一致CIは低下、先行CIは上昇。大阪府(一致CI)では、主に「百貨店売場面積当たり販売額」「人件費比率(製造業)」が低下に寄与。全国(10月)の一致CIは低下、先行CIは上昇。】



(資料)大阪産業経済リサーチ&デザインセンター「景気動向指数」、内閣府「景気動向指数」、2015年=100

* 先行CIは、3ヶ月から半年程度、景気に先行する指標で構成されている。

	大阪府		
	22年9月	10月	11月
先行CI	102.9	P 106.6	
一致CI	92.4	P 91.5	

	全国		
	22年9月	10月	11月
先行CI	98.2	98.6	
一致CI	100.8	99.6	

一致CIの個別系列の寄与度*(大阪府、10月速報)

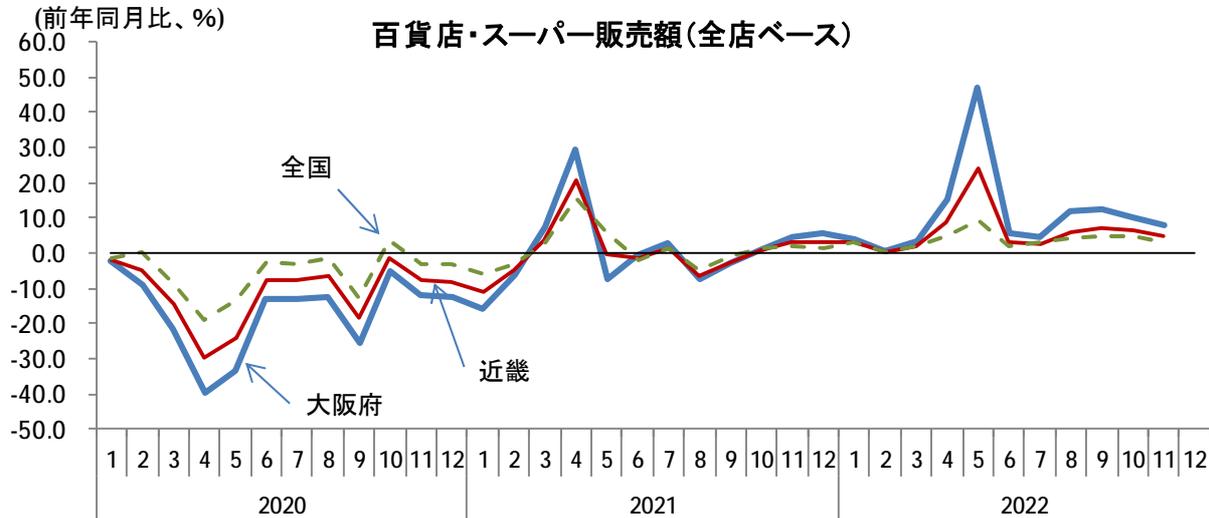
百貨店売場面積当たり販売額	大阪税関管内輸入通関額	製造工業生産指数	生産財出荷指数	人件費比率(製造業)	有効求人倍率	所定外労働時間指数(製造業)
▲0.88	0.72	▲0.55	0.67	▲0.60	▲0.15	▲0.11

※寄与度とは、CIの前月からの変化が、CIを合成する個別系列からどの程度もたらされたのかを示した数値。

[需要] 消費

個人消費は、緩やかに持ち直している。百貨店・スーパー販売額、コンビニ販売額、家電販売額、新車販売台数は増加。家計消費支出(近畿;10月)は増加。

○百貨店・スーパー販売額(全店)【14ヶ月連続の増加。】



(資料)近畿経済産業局「百貨店・スーパー販売状況」、経済産業省「商業動態統計」

百貨店・スーパー販売額(全店)

		22年9月	10月	11月
販売額(億円)	大阪府	1,343	1,472	P 1,536
前年比(%)	大阪府	12.5	10.1	P 8.0
	近畿	7.1	6.6	P 4.7
	全国	4.8	4.9	P 3.0

百貨店販売額(全店)

		22年9月	10月	11月
前年比(%)	大阪府	30.5	19.4	P 12.3
	全国	19.1	10.9	P 4.1

スーパー販売額(全店)

		22年9月	10月	11月
前年比(%)	大阪府	▲0.5	1.7	P 3.5
	全国	0.5	2.8	P 2.6

○コンビニエンスストア販売額(全店)【12ヶ月連続の増加。】

		22年9月	10月	11月
販売額(億円)	大阪府	720	840	P 913
前年比(%)	大阪府	4.2	22.3	P 39.3
	近畿	2.7	13.3	P 21.2
	全国	2.3	6.5	P 7.9

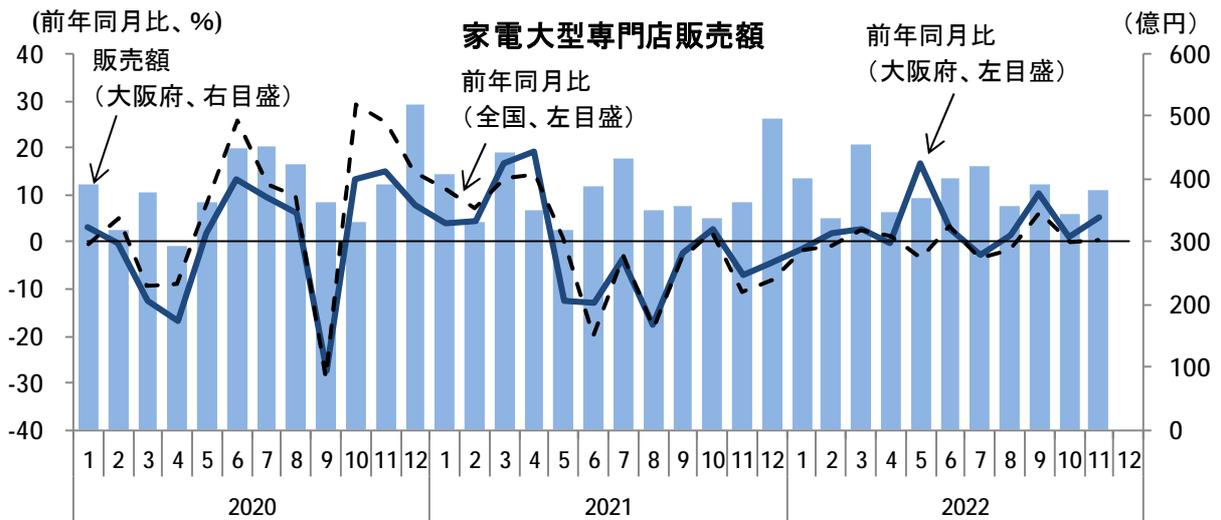
○家計消費支出【近畿(10月)は10ヶ月連続の増加。】

		22年9月	10月	11月
円	近畿	280,983	304,842	
前年比(%)	近畿	10.4	8.8	
	全国	5.9	5.7	

(資料)総務省統計局「家計調査」 ※二人以上世帯、一世帯当たりの名目。

[需要] 消費

○家電販売額【前年同月比で4ヶ月連続の増加。】



(資料) 経済産業省「商業動態統計」

家電大型専門店販売額(全店)

		22年9月	10月	11月
前年比 (%)	大阪府	10.3	1.2	P 5.1
	全国	6.4	0.1	P 0.3

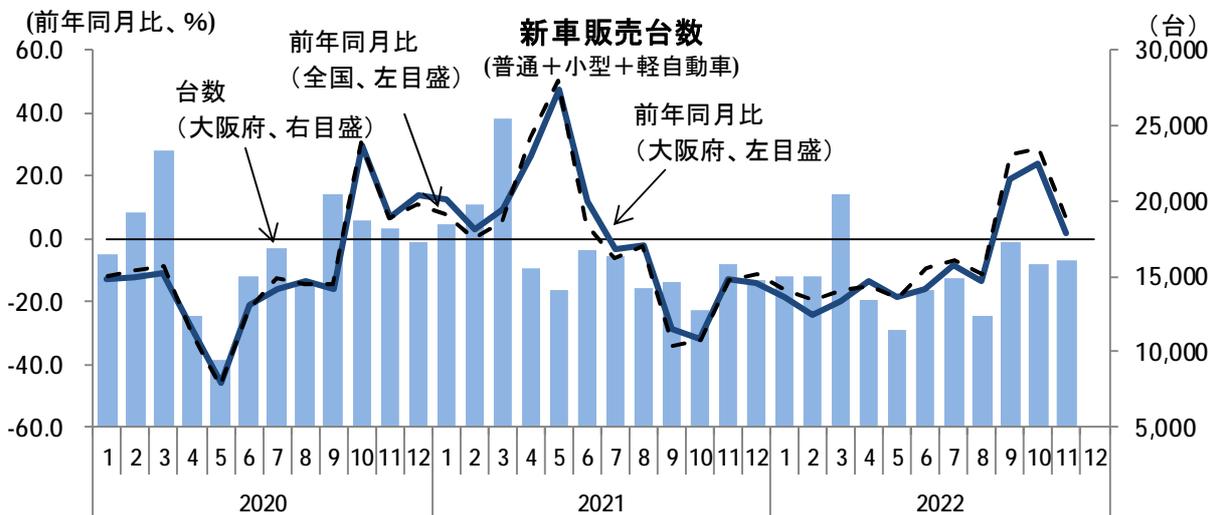
ドラッグストア販売額(全店)

		22年9月	10月	11月
前年比 (%)	大阪府	8.1	5.9	P 8.8
	全国	5.6	6.1	P 7.9

ホームセンター販売額(全店)

		22年9月	10月	11月
前年比 (%)	大阪府	▲5.9	▲2.0	P ▲2.4
	全国	▲3.2	1.7	P ▲1.3

○新車販売台数【前年同月比で3ヶ月連続の増加。】



(資料) (一社) 日本自動車販売協会連合会、(一社) 全国軽自動車協会連合会

		22年9月	10月	11月
販売額(台)	大阪府	17,279	15,777	16,083
前年比 (%)	大阪府	18.8	24.1	1.6
	全国	26.4	28.3	5.6

車種別の増減

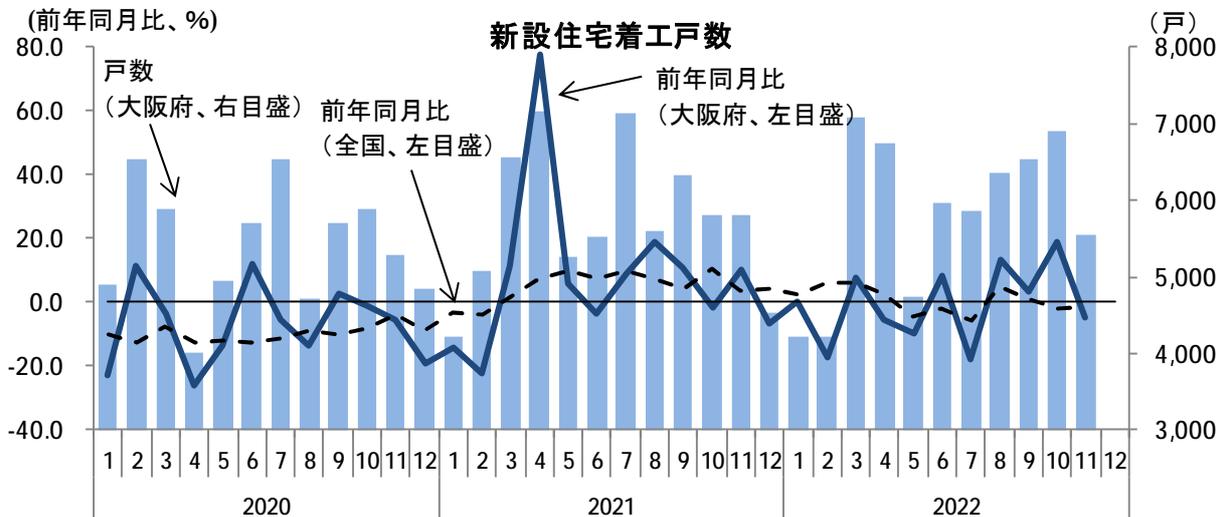
(大阪府、前年同月比(%))、11月)

普通車	小型車	軽自動車
2.1	3.6	▲1.0

[需要] 投資

投資は、持ち直しに足踏みがみられる。住宅投資は減少、非居住用建設投資は増加。公共投資は増加。

○新設住宅着工戸数【前年同月比で4ヶ月ぶりの減少。】

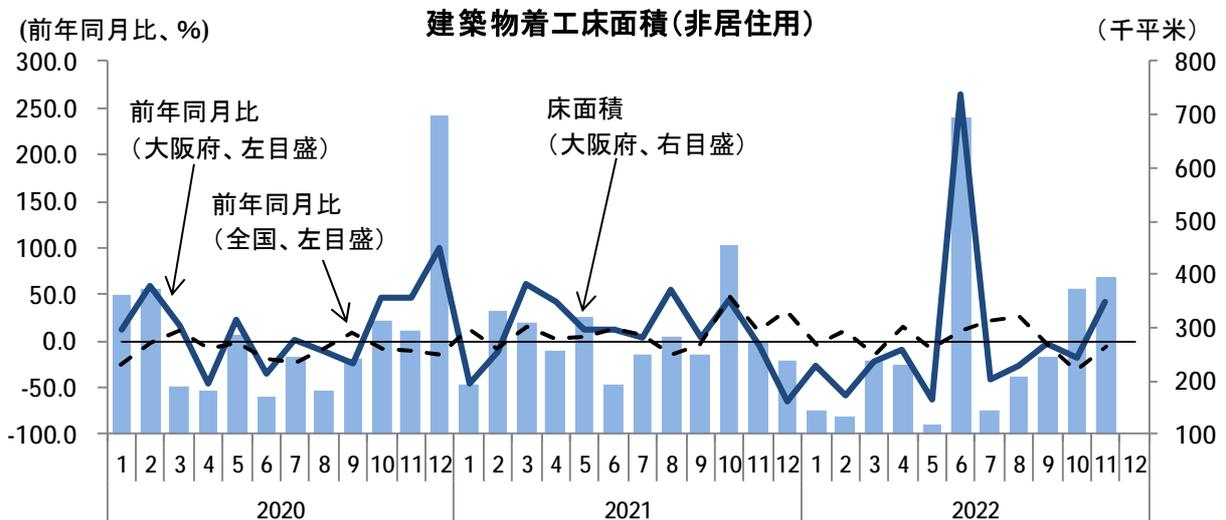


(資料)国土交通省「住宅着工統計」

		22年9月	10月	11月
戸数	大阪府	6,539	6,888	5,539
前年比 (%)	大阪府	3.5	18.7	▲4.7
	全国	1.0	▲1.8	▲1.4

利用者関係別の増減 (大阪府、前年同月比(%))、11月)		
持家	貸家	分譲
▲12.2	23.4	▲35.1

○建築物着工床面積(非居住用)【前年同月比で5ヶ月ぶりの増加。】



(資料)国土交通省「建築着工統計」

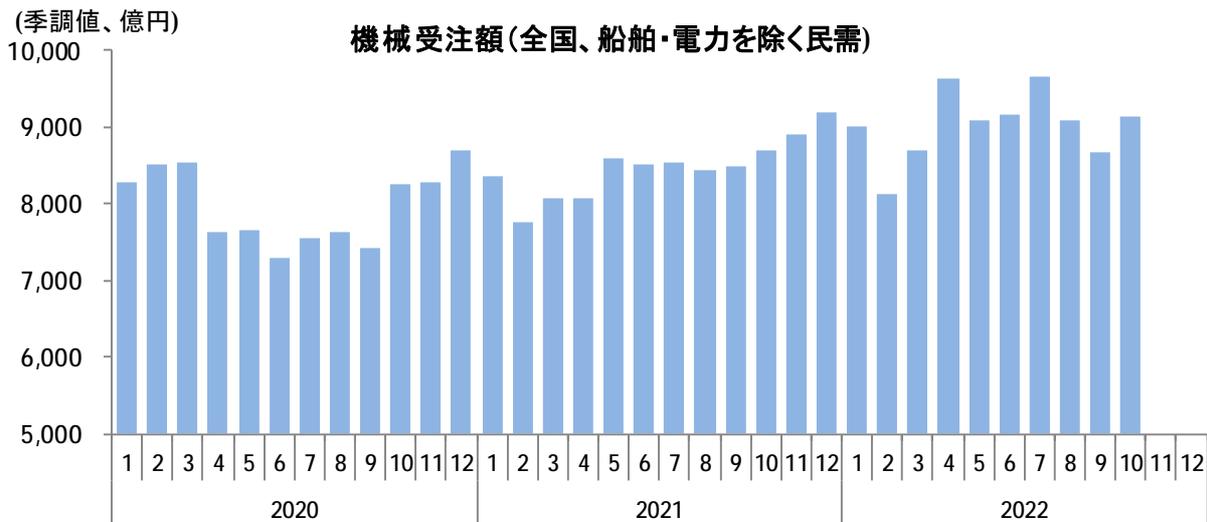
		22年9月	10月	11月
千 m ²	大阪府	246	373	395
前年比 (%)	大阪府	▲1.9	▲18.0	42.9
	全国	▲3.1	▲32.4	▲6.0

着工床面積の主な増減 (大阪府、前年同月比の寄与度※(%))、11月)	
増加	不動産業(57.0)、教育・学習支援業(48.5)
減少	卸売業・小売業(▲24.1)、製造業(▲14.7)、運輸業(▲14.6)

※寄与度とは、全体の増減率の要因として、各業種の増減がどの程度貢献しているのかを表す数値。

[需要] 投資

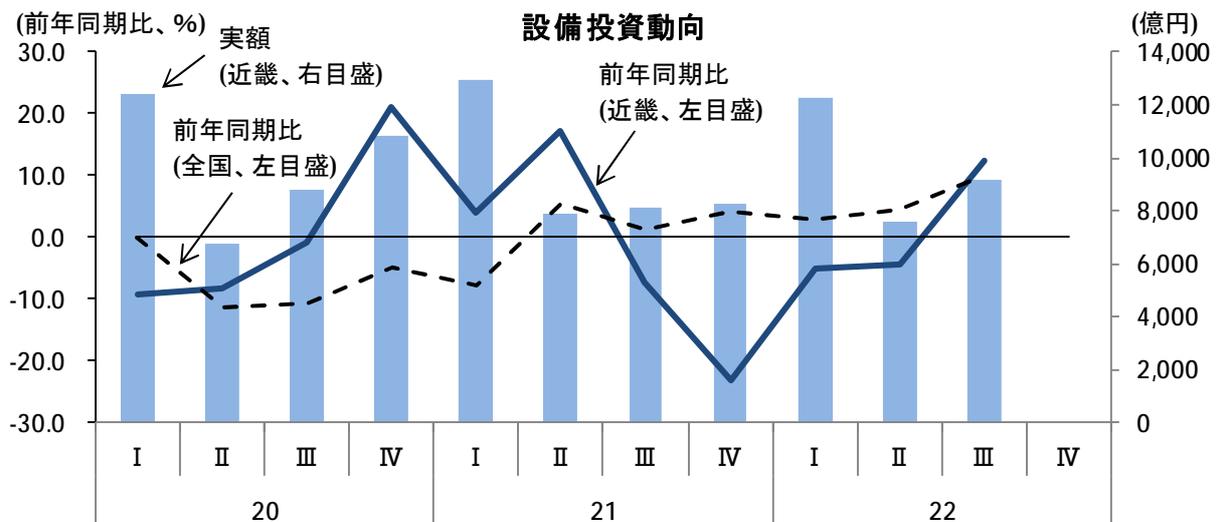
○機械受注額【10月(全国)は前月比で増加。】



(資料)内閣府「機械受注統計調査」

	22年9月	10月	11月
全国(億円)	8,680	9,147	

○設備投資動向【7~9月期(近畿)は前年同期比で5期ぶりの増加。「製造業」、「非製造業」はともに増加。】



(資料)近畿財務局「法人企業統計」、財務省「法人企業統計」

※資本金10億円以上、全産業(金融・保険業を除く)。ソフトウェアを含む設備投資。

		22年1~3月	4~6月	7~9月
億円	近畿	12,278	7,557	9,160
前年同期比 (%)	近畿	▲5.0	▲4.3	12.3
	全国	3.0	4.6	9.8

○公共工事請負金額【4ヶ月連続の増加。】

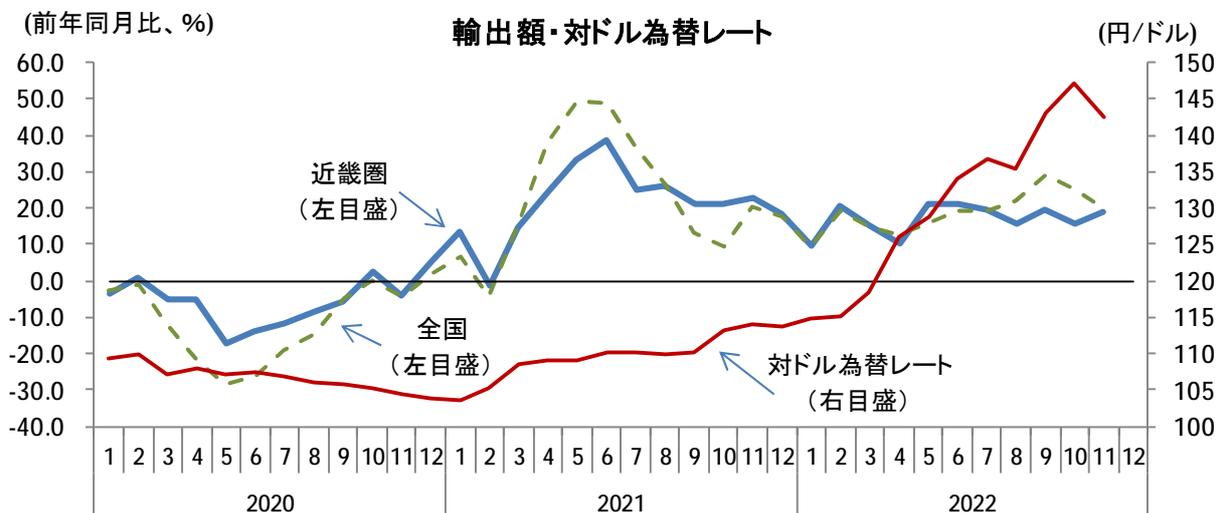
		22年9月	10月	11月
億円	大阪府	516	440	244
前年比 (%)	大阪府	16.4	4.6	1.0
	全国	2.4	▲1.9	▲7.6

(資料)西日本建設業保証(株)、東日本建設業保証(株)、北海道建設業保証(株)

[需要] 貿易・観光

輸出は、持ち直している。輸出額は増加。主要国向けでは、すべての地域向けで増加。輸入額は増加。

○輸出額【21ヶ月連続の増加。「建設用・鉱山用機械」、「医薬品」などが増加。主要国・地域向けでは、すべての地域向けで増加。】

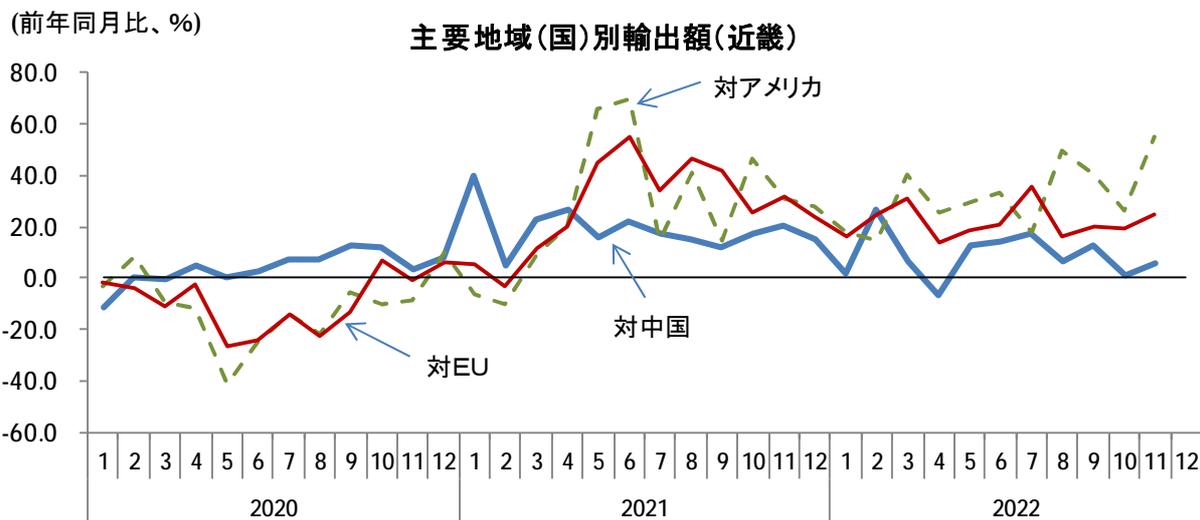


(資料)大阪税関「貿易統計」、日本銀行「時系列統計」

※対ドル為替レートは、東京インターバンク相場、ドル・円、スポット、中心相場/月中平均。

		22年9月	10月	11月
輸出額(億円)	近畿	19,306	20,017	P 18,984
前年比 (%)	近畿	19.5	15.6	P 19.0
	全国	28.9	25.3	P 20.0
為替レート(円/ドル)		143.14	147.01	142.44

品目別の主な増減 (近畿、前年同月からの増減額順、11月)	
増加	建設用・鉱山用機械、医薬品
減少	原動機、科学光学機器



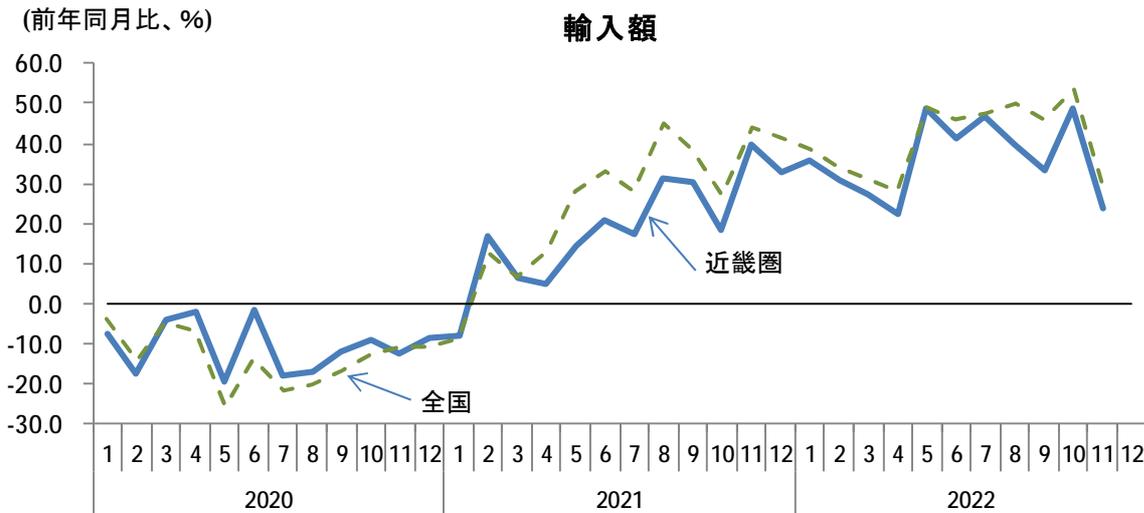
(資料)大阪税関「貿易統計」

主要地域別輸出額の増減(近畿、前年同月比(%))、11月

アジア(含む中国)	10.1	24ヶ月連続の増加
中国	5.5	7ヶ月連続の増加
ASEAN	28.8	21ヶ月連続の増加
EU	24.6	21ヶ月連続の増加
アメリカ	55.0	21ヶ月連続の増加

[需要] 貿易・観光

○輸入額【22ヶ月連続の増加。「原油及び粗油」、「医薬品」などが増加。】



(資料)大阪税関「貿易統計」

		22年9月	10月	11月
輸入額(億円)	近畿	18,569	P 19,375	P 18,773
前年比 (%)	近畿	33.2	P 48.6	P 23.9
	全国	45.8	P 53.5	P 30.3

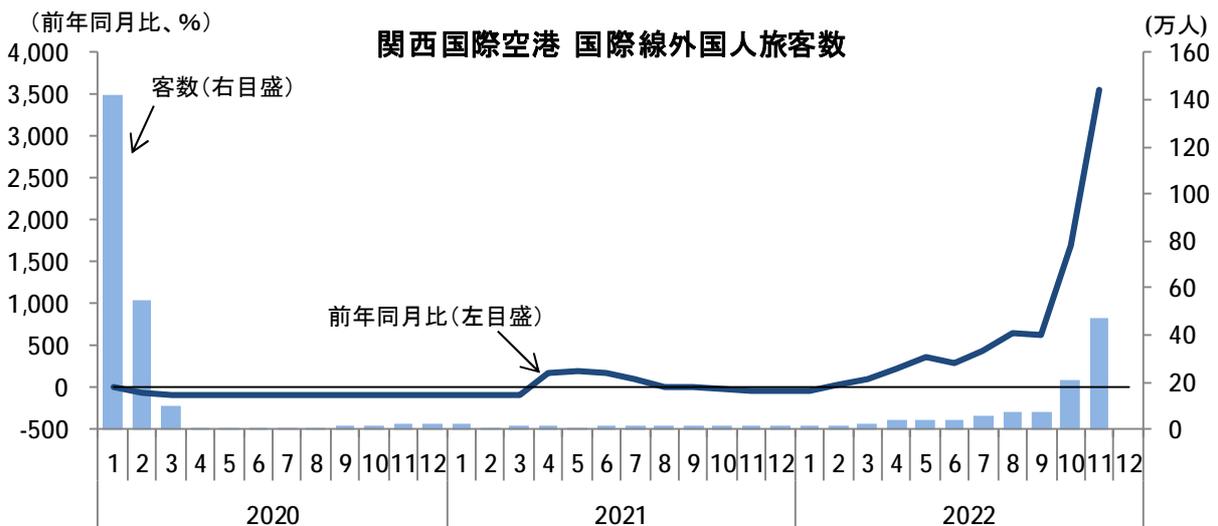
品目別の主な増減
(近畿、前年同月からの増減額順、11月)

増加	原油及び粗油、医薬品
減少	非鉄金属鉱、たばこ

主要地域別輸入額の増減(近畿、前年同月比(%))、11月

アジア(含む中国)	20.4	22ヶ月連続の増加
中国	20.3	7ヶ月連続の増加
ASEAN	23.3	22ヶ月連続の増加
EU	7.5	2ヶ月連続の増加
アメリカ	31.7	7ヶ月連続の増加

○関西国際空港 国際線外国人旅客数【前年同月比で10ヶ月連続の増加。】



(資料)関西エアポート(株)

	22年9月	10月	11月
万人	7.4	P 20.6	P 47.1
前年比 (%)	612.8	P 1696.3	P 3549.2

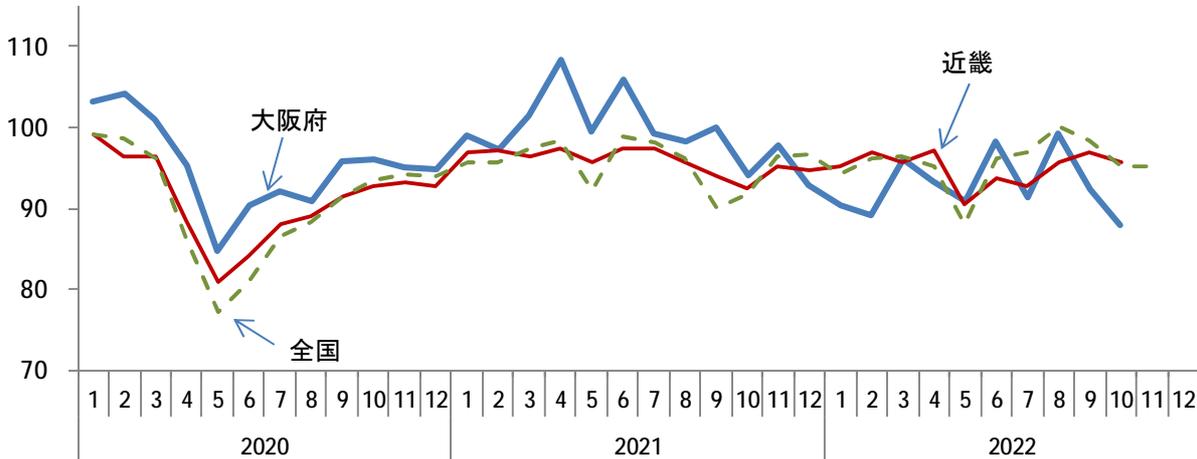
[供給] 生産・企業活動

生産動向は、弱含んでいる。大阪府(10月)では、生産、出荷はともに低下。近畿の生産(10月)は低下。全国の生産(11月)は低下。企業倒産では、件数、負債金額はともに悪化。

○鉱工業生産指数【大阪府(10月)は2ヶ月連続の低下。「化学工業」、「金属製品工業」などが低下。近畿(10月、鉱工業)は3ヶ月ぶりの低下。全国(11月、鉱工業)は3ヶ月連続の低下。】

(季節調整済)

鉱工業生産指数



(資料)大阪府統計課「大阪府工業指数」、近畿経済産業局「鉱工業生産動向」、経済産業省「鉱工業指数」
※大阪府は製造工業指数。2015年=100。

鉱工業生産指数

季調済	22年9月	10月	11月
大阪府	92.4	P 87.9	
近畿	97.0	95.6	
全国	98.5	95.3	P 95.2

鉱工業出荷指数

季調済	22年9月	10月	11月
大阪府	89.7	P 88.7	
近畿	95.2	98.9	
全国	95.1	93.5	P 93.0

生産指数における産業別の主な変動

(大阪府、前月比(%)、寄与度順、10月速報)

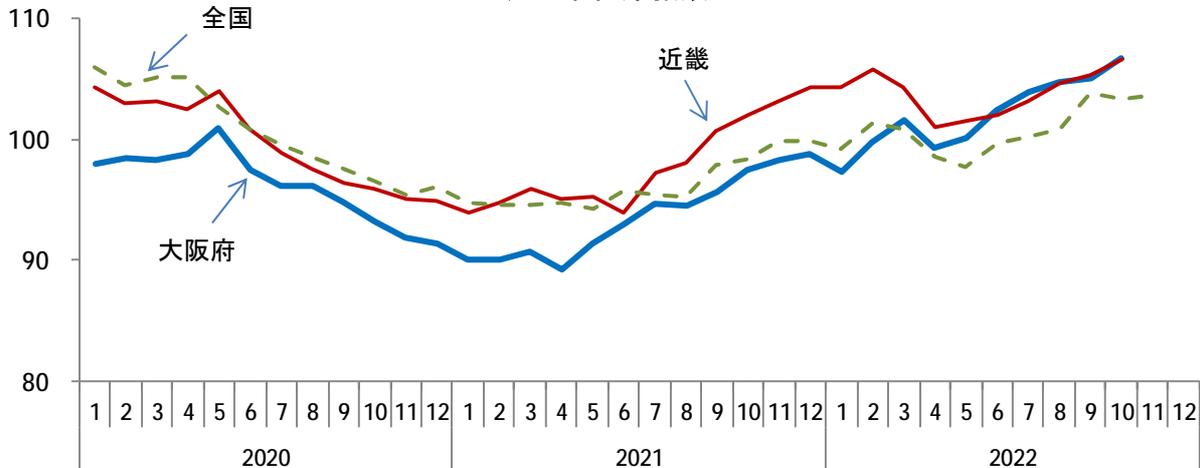
上昇	輸送機械工業(61.4): 鉄道車両部品、シャシー・車体部品
	生産用機械工業(3.7): ショベル系掘削機械、繊維機械
	その他工業(2.3): 工業用ゴム製品、木製家具
低下	化学工業(▲17.8): 医薬品、界面活性剤
	金属製品工業(▲11.1): 産業用アルミニウム製品、飲料用アルミニウム缶
	食料品工業(▲8.0): ビール・発泡酒、新ジャンルビール

[供給] 生産・企業活動

○鉱工業在庫指数【大阪府(10月)は6ヶ月連続の上昇。「電気・情報通信機械工業」、「汎用・業務用機械工業」などが上昇。近畿(10月)は6ヶ月連続の上昇。全国(11月)は2ヶ月ぶりの上昇。】

(季節調整済)

鉱工業在庫指数



(資料)大阪府統計課「大阪府工業指数」、近畿経済産業局「鉱工業生産動向」、経済産業省「鉱工業指数」

※大阪府は製造工業指数。2015年=100。

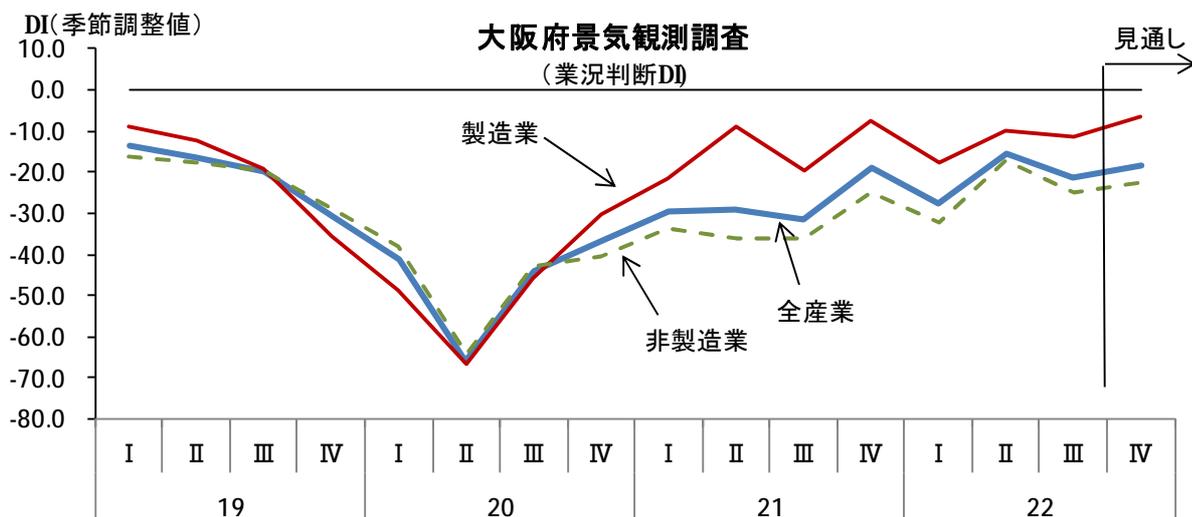
鉱工業在庫指数

季調済	22年9月	10月	11月
大阪府	105.1	P 106.6	
近畿	105.3	106.5	
全国	103.8	103.3	P 103.6

在庫指数における産業別の主な変動 (大阪府、前月比(%)、寄与度順、10月速報)

上昇	電気・情報通信機械工業(3.0):乾電池、陸上移動通信装置
	汎用・業務用機械工業(2.8):ポンプ、軸受
低下	生産用機械工業(▲9.5):装輪式トラクタ、金属工作専用機
	鉄鋼・非鉄金属工業(▲0.7):鋼半製品、アルミニウムはく

○企業の業況判断【7~9月期(全産業)は2期ぶりの悪化。】



(資料)大阪産業経済リサーチ&デザインセンター「大阪府景気観測調査」

季調済	22年 1~3月	4~6月	7~9月	10~12月 (見込み)
製造業	▲17.9	▲10.2	▲11.2	▲6.7
非製造業	▲32.4	▲17.1	▲24.9	▲22.4
全産業	▲27.8	▲15.8	▲21.3	▲18.3

[供給] 生産・企業活動

○企業倒産【倒産件数は前年同月比で2ヶ月連続の増加(悪化)、負債金額は前年同月比で2ヶ月連続の増加(悪化)。】



(資料)東京商工リサーチ「倒産月報」

倒産件数

		22年9月	10月	11月
件	大阪府	67	69	85
前年比 (%)	大阪府	▲2.8	1.4	7.5
	全国	18.6	13.5	13.9

負債金額

		22年9月	10月	11月
億円	大阪府	106	56	76
前年比 (%)	大阪府	▲40.4	28.1	55.2
	全国	59.4	▲11.6	22.8

主要業種の倒産件数(大阪府)

	22年9月	10月	11月
建設業	15	8	13
製造業	3	6	11
卸売業	10	3	9
小売業	7	13	13
サービス業他	28	32	25

主な倒産(大阪府、11月)

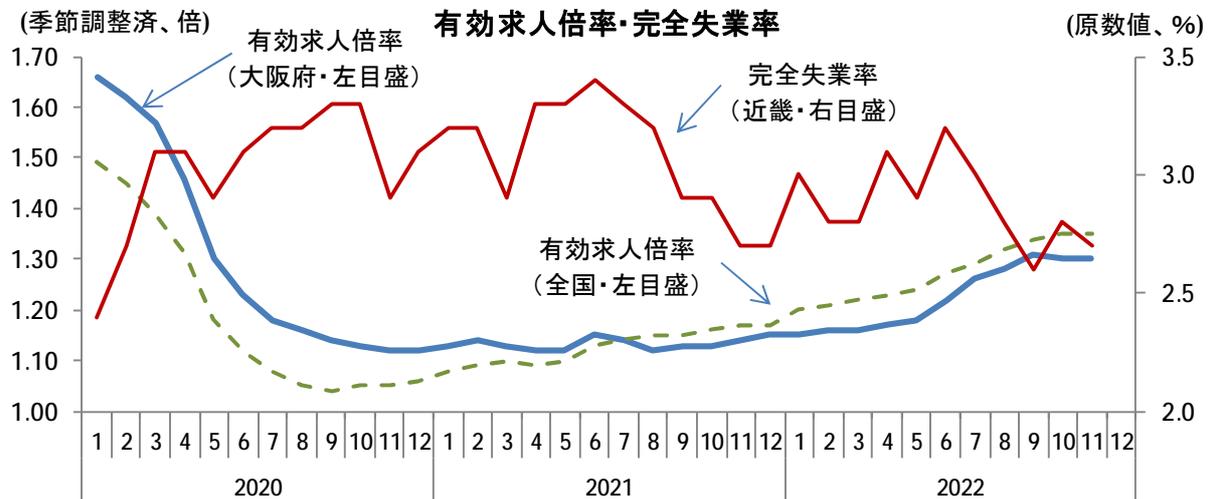
業種	負債額 (百万円)	倒産原因
分譲住宅販売	1,410	販売不振
婦人服小売	500	過小資本
通所介護事業	495	他社倒産の余波

[供給] 雇用

雇用は、持ち直しの動きが続いている。近畿の失業率は横ばい。有効求人倍率は横ばい、新規求人倍率は上昇。所定外労働時間(10月)は上昇。

○完全失業率【近畿は前年比横ばい】

有効求人倍率【大阪は前月比横ばい】、新規求人倍率【大阪は3ヶ月連続の上昇】



(資料)厚生労働省「一般職業紹介状況」、総務省統計局「労働力調査」※有効求人倍率はパートを含む。

完全失業率(近畿、原数値)

	22年9月	10月	11月
%	2.6	2.8	2.7
前年同月差	▲0.3	▲0.1	0.0

完全失業率(全国、季節調整値)

	22年9月	10月	11月
%	2.6	2.6	2.5
前月差	0.1	0.0	▲0.1

大阪府、近畿及び全国の完全失業率(原数値、%)

	22年1~3月	4~6月	7~9月
大阪府	2.9	3.6	3.3
近畿	2.8	3.1	2.8
全国	2.7	2.7	2.6

(資料)大阪府統計課「大阪の就業状況」、総務省統計局「労働力調査」

有効求人倍率(季節調整値、倍)

	22年9月	10月	11月
大阪府	1.31	1.30	1.30
全国	1.34	1.35	1.35

新規求人倍率(季節調整値、倍)

	22年9月	10月	11月
大阪府	2.50	2.61	2.72
全国	2.27	2.33	2.42

(資料)厚生労働省「一般職業紹介状況」※パートを含む。

新規求人数の主要産業別の増減
(大阪府、前年同月比(%))

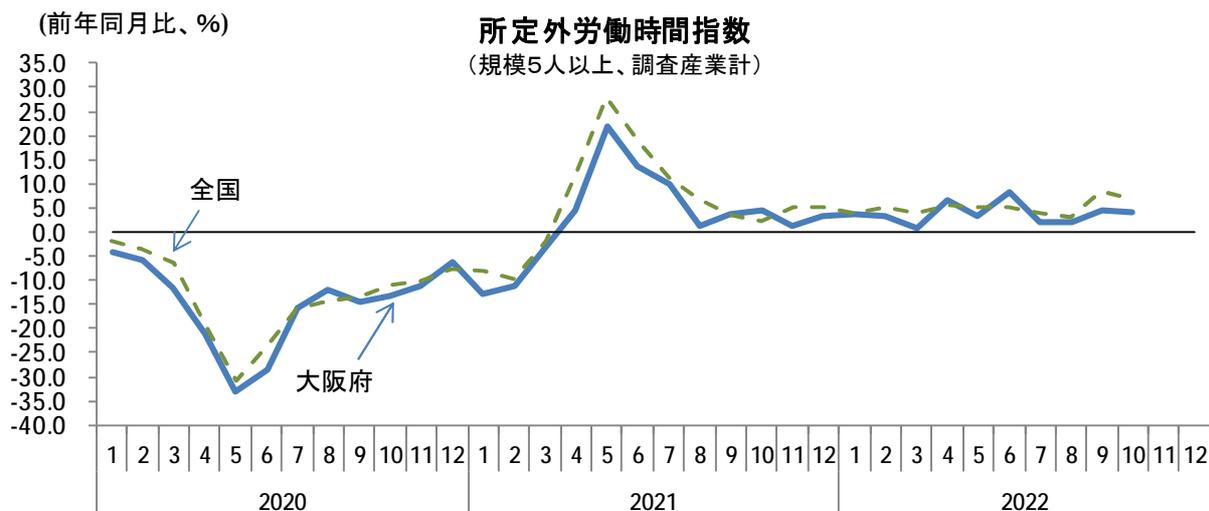
	22年9月	10月	11月
産業計	8.2	9.3	7.1
建設業	▲2.2	6.7	4.3
製造業	14.4	12.5	0.1
卸売業、小売業	22.6	12.5	14.4
宿泊業、 飲食サービス業	22.9	31.7	9.7
医療、福祉	3.4	2.5	5.2

(資料)大阪労働局「大阪労働市場ニュース」

※新規求人数の増減は原数値での比較

[供給] 雇用

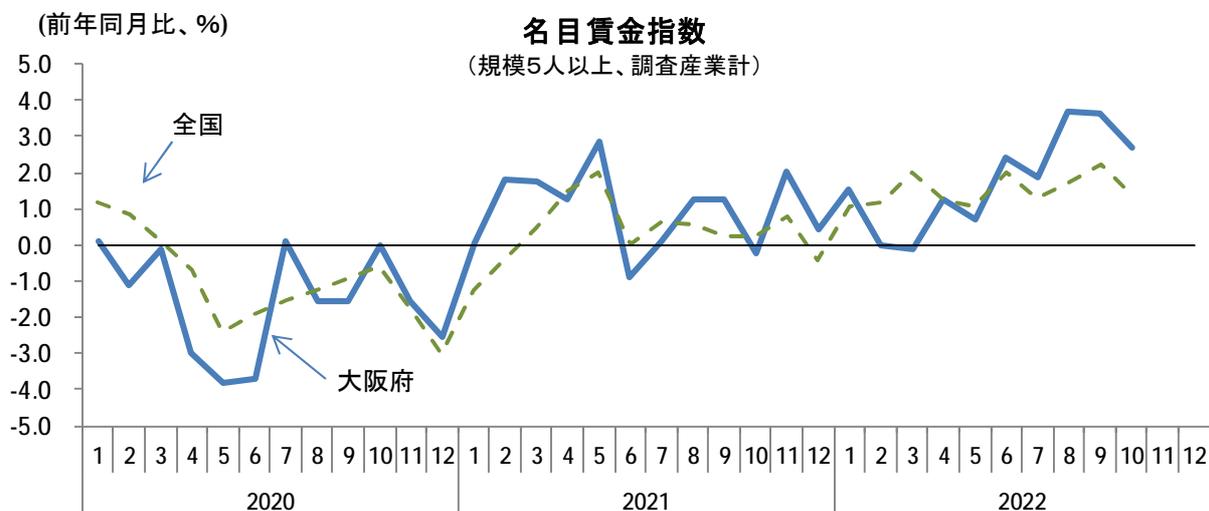
○所定外労働時間指数【大阪府(10月)は19ヶ月連続の上昇。】



(資料)大阪府統計課「大阪の賃金、労働時間及び雇用の動き」、厚生労働省「毎月勤労統計調査」
※事業所規模5人以上、前年同月比は労働時間指数(2020年=100)による。

		22年9月	10月	11月
指数	大阪府	105.9	110.6	
前年比 (%)	大阪府	4.4	4.2	
	全国	8.3	6.9	

○名目賃金指数【大阪府(10月)は前年同月比で7ヶ月連続の上昇。】



(資料)大阪府統計課「大阪の賃金、労働時間及び雇用の動き」、厚生労働省「毎月勤労統計調査」
※事業所規模5人以上、前年同月比は名目賃金指数(2020年=100)による。

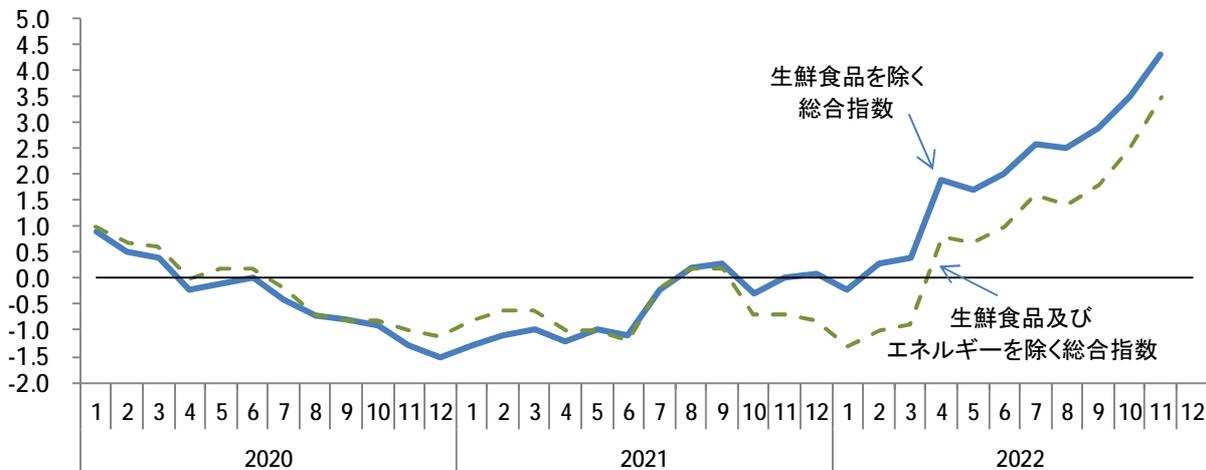
		22年9月	10月	11月
現金給与総額(円)	大阪府	289,312	286,655	
前年比 (%)	大阪府	3.6	2.7	
	全国	2.2	1.4	

[その他] 物価

○消費者物価指数【大阪市の生鮮食品を除く総合指数は 10 ヶ月連続の上昇。「食料」「光熱・水道」などが上昇。生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数は 8 ヶ月連続の上昇。】

(前年同月比、%)

消費者物価指数(大阪市)



(資料)大阪府統計課「大阪市消費者物価指数」、総務省「消費者物価指数」

※2020年=100。

総合指数

		22年9月	10月	11月
指数	大阪市	102.5	103.2	P 104.0
前年比 (%)	大阪市	2.9	3.8	P 4.5
	全国	3.0	3.7	3.8

生鮮食品を除く総合指数

		22年9月	10月	11月
指数	大阪市	102.1	102.8	P 103.8
前年比 (%)	大阪市	2.9	3.5	P 4.3
	全国	3.0	3.6	3.7

生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数

		22年9月	10月	11月
指数	大阪市	100.8	101.5	P 102.5
前年比 (%)	大阪市	1.8	2.5	P 3.5
	全国	1.8	2.5	2.8

総合指数において主に変動した分類

(大阪市、前年同月比(%))、寄与度順、11月速報)

上昇	食料(7.8):魚介類(塩さけ、あさり、さけ)、穀類(あんパン、カレーパン、中華麺)
	光熱・水道(13.6):ガス代(都市ガス代、プロパンガス)、電気代(電気代)
低下	教養娯楽(▲0.8):教養娯楽サービス(宿泊料、サッカー観覧料、テーマパーク入場料)

